

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 31 年 3 月 26 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp



【みなと総合高校でルーマニアの生徒が部活動を体験する様子】

横浜の学校が取り組む海外との交流を紹介、第1回：横浜市立梅林小学校（磯子区）

梅林小学校では、6年生を担当している武藤先生のクラスで、横浜市の姉妹都市であるサンディエゴについて学ぶ授業を行っています。武藤先生は、2018年の海外派遣研修でサンディエゴを訪問し、現地の学校の授業を視察したところ、アメリカの児童のプレゼンテーション能力に驚き、日本の児童にも自分を表現する力を身につけてほしいと感じたそうです。梅林小学校の児童たちは今、サンディエゴのことを調べる課題や、学校生活・日本文化などを海外に伝える課題に積極的に取り組んでいます。



また、2018年6月には、サンディエゴの小学校の校長先生兼サンディエゴ横浜姉妹都市協会理事のパーク校長先生が梅林小学校を訪問し、今後の交流・協力についての意見交換等を行いました。

更に11月には、横浜サンディエゴ友好委員会が、武藤先生のクラスを訪問し、横浜市とサンディエゴの姉妹都市交流について、出前授業を行いました。

横浜の学校が取り組む海外都市との交流を紹介、第2回：横浜市立みなと総合高校（中区）

みなと総合高校は、21世紀の国際社会に対応しうる人材の育成を目指し、教科学習やさまざまな国際交流プログラムを通じて、国際的な視野を広げ、異文化の理解を深めることを大切にしています。



同校は、バンクーバーのブリタニア・セカンダリー・スクール (Britannia Secondary School)、上海の上海工商外国語学校 (Shanghai I&C Foreign Language School) と姉妹校提携を行っているほか、国際ボランティアなどにも力を入れています。



2018年7月、横浜の姉妹都市であるルーマニアのコンスタンツァから、日本語を学ぶ高校生たちが、日本スタディツアーの一環として来日し、みなと総合高校を訪問しました。同校の生徒

たちは、これまでの国際交流の経験を活かし、様々な部活動を体験するツアーを実施し、笑顔あふれる交流を行いました。



ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校グローバル担当副学長が横浜を訪問しました

2月13日から15日に、横浜市米州事務所の働きかけで、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校のジュン・リュウ グローバル担当副学長が横浜市を訪問しました。滞在期間中、林市長や複数の市内大学を訪問し、留学やスタートアップ支援などの大学間交流の可能性について協議を行いました。



ストーニーブルック校は、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学と同じ大学連盟(AAU)に加盟しており、4人のノーベル賞受賞者を輩出している全米トップクラスの総合大学です。特に医学と工学との連携に強みを持っており、横浜市内の大学との包括的で、戦略的な連携に大変意欲を持っています。